自然が未来
EXISLAND

取扱説明書

Eウッドスタイル

お客様へ

このたびは、当社製品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。
正しく安全にご使用いただくために必ず、この取扱説明書をお読みください。

施工業者の方へのお願い

大切な書類です。施工後は必ずお客様にお渡しください。

安全注意事項の表示

本文中の 禁止 注意 の表示箇所は特に重要です。必ず読んでお守りください。
守られない場合、思わぬ事故につながり、ケガをする恐れがあります。

禁 止

◆本製品は隣地との境界を示す目的に設置します。転倒防止を目的とした防護柵、歩行補助を目的とした手すりとして使用しないでください。

◆事故や故障の原因となりますので、むやみな改造、仕様変更はしないでください。

◆ケガや事故の原因となりますので、製品を破損・故障・変形したままで、使用しないでください。

◆破損や事故の原因となりますので、板塀本体に重いものを乗せたり、寄りかかったり、ぶら下がらないでください。

◆破損や故障の原因となりますので、板塀本体に強い衝撃を与えないでください。

◆変形や火災の原因となりますので、火気を近付けなでください。

◆変形や変色の原因となりますので、アルコール以外の有機溶剤や石油類を付着しないようにしてください。

自然が未来 EXISLAND

Eウッドスタイル

取付説明書

☆ 本製品は新しい発想と、製造技術開発により生み出された製品です。
素材は数多くの特長を持っておりますので、一般住宅でも広く使われております。

- このたびは、当社製品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、あなたやほかの人々の危害や損害を未然に防止するものです。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号	記号の意味
⚠ 警告	●取扱を誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
⚠ 注意	●取扱を誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容または物的損害のおそれがある内容を示しています。

<施工の前に>

⚠ 警告

●本製品は隣地との境界を目的に設置するものです。転倒防止を目的とした防護柵,歩行補助を目的とした手すり等として使用しないでください。

●本製品の施工には別売『固定部品』もしくは『連結バー材』が必要です。使用しない場合、本体の伸縮により反り・割れが生じる場合があります。

⚠ 注意

●正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。

●製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。

●施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

<施工上のご注意>

⚠ 注意

●施工前に本製品を太陽光に当てないで下さい。部材が伸縮するおそれがあります。

●強い衝撃を与えないでください。変形やキズ付きの原因となります。

●フェンス本体板材の化学的性質は弱酸性・アルカリ・塩類等には優れた抵抗性を持っています。アルコール系以外の有機溶剤や石油類に侵されやすいので、触れると変色する原因となります。

●火気があたり続けますと軟化や融解をします。火気は近付けないでください。

●柱のピッチは１０００mm以下で施工してください。それ以上離れると耐風圧強度が、大幅に低下します。

●柱はアルミメーカー品を使用して、施工してください。

●本製品の取付については、本体に同梱されている取付説明書をご確認ください。

●本製品の施工につきましては、固定部品もしくは連結バー材をご使用ください。

●柱は施工現場の状況（風圧など）を考慮し、指定以上の角・肉厚で十分強度を確保した柱をお使いください。

- 製品の特性上本製品には色差・色ムラがあります。

E001-1510-05

■梱包明細表

⚠ 注意

●開梱時に部品の種類と数量を確認してください。
●商品に異常がないことを確認してください。

1 本体

名　称	略　図	数　量
本体 L1995×H45×D10 L1995×H90×D10 L1995×H120×D10 L1995×H176×D12 L1995×H100×D15		10枚
固定ビス(別売)　固定部品用 φ4×25ドリルネジ		30本
固定ビス(別売)　連結バー材用 φ4×35ドリルネジ		30本
取付・取扱説明書		1

2 柱(別売)

名　称	アルミ柱			コート柱			数　量
	角寸法(mm)	L寸法(mm)	許容高さ	角寸法(mm)	L寸法(mm)	許容高さ	
柱本体 (別売) 柱キャップ付	35 x35 t2.0	1,000	800				
		1,200	1,000				
		1,500	1,200				
	50 x 30 t1.6	1,000	800	40 x 40 t2.0	1,000	800	
		1,200	1,000		1,200	1,000	
		1,500	1,200		1,500	1,200	
	50 x 50 t1.5	2,000	1,600		2,000	1,600	
	60 x 60 t1.5	2,400	1,900	52 x 52 t2.4	2,400	1,900	
	60 x 60 t2.0	2,700	2,200		2,700	2,200	

3 固定部品セット(別売)

※連結バー材を使用の場合は必要ありません。
※Eウッドスタイル ネオに固定部品の設定はありません。

名　称	略　図	数　量
固定部品 100用・120用・176用	固定部品	1個
ワッシャー　φ4用	ワッシャー	
ジョイント部用スポンジ	スポンジ	

4 連結バー材セット(別売)

※固定部品を使用の場合は必要ありません。

名　称	略　図	数　量
連結バー材　※現場でカット W45xL2000、W55xL2000・L2500 ※W50xL2000・L2500(ネオ専用)	連結バー材	1本
当て板	当て板 両面テープ付	
ジョイント部用スポンジ	スポンジ	

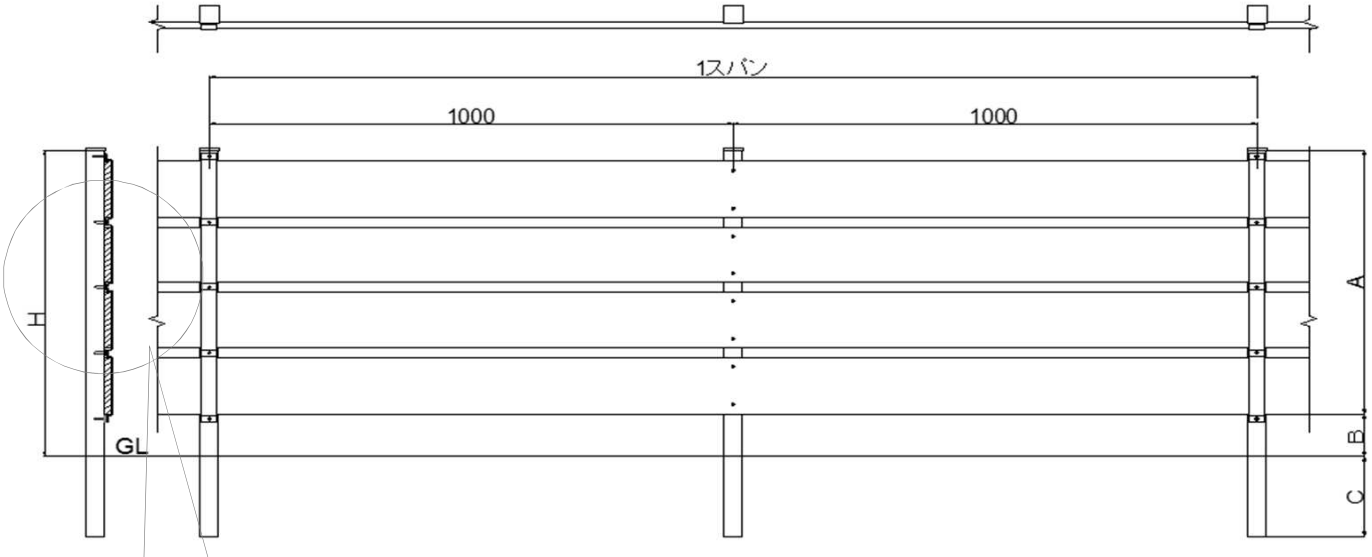
5 エンドカバー・コーナーカバー材セット・L字エンドカバー(別売)

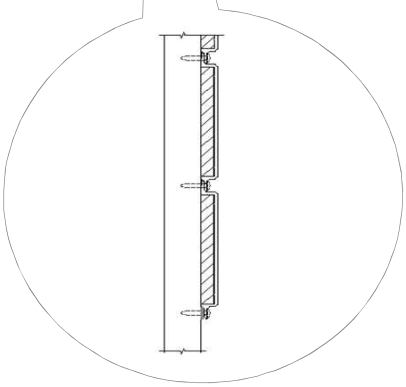
名　称	略　図			数　量
エンドカバー・コーナーカバー (板厚10mm用) 45・90・120巾用　L2000(別売)	コーナーカバー	エンドカバー	L字エンドカバー	1本 (ネジ付)
L字エンドカバー (板厚10～15mm用) 45・90・100・120・176巾用 L2000(別売)	43 / 43	30 / 25	25 / 25	

■基本寸法

1．固定部品仕様　　※Eウッドスタイル ネオに固定部品の設定はありません。

※標準施工時、<u>端部及びジョイント部</u>に固定部品を使用してください。





柱サイズ

アルミ形材柱 JISA6063対応品		コート柱 亜鉛非合金化メッキ鋼管	
角寸法（mm）	許容最大 H寸法	角寸法（mm）	許容最大H寸法
35×35 t2.0	1,200	40x40 t2.0	1,600
50×30 t1.6	1,200	52x52 t2.4	2,200
50×50 t1.5	1,600		
60×60 t1.5	1,900		
60×60 t2.0	2,200		

※　施工場所を考慮して十分強度の取れる柱を選択してください。

※　板の長さは1995mmです。

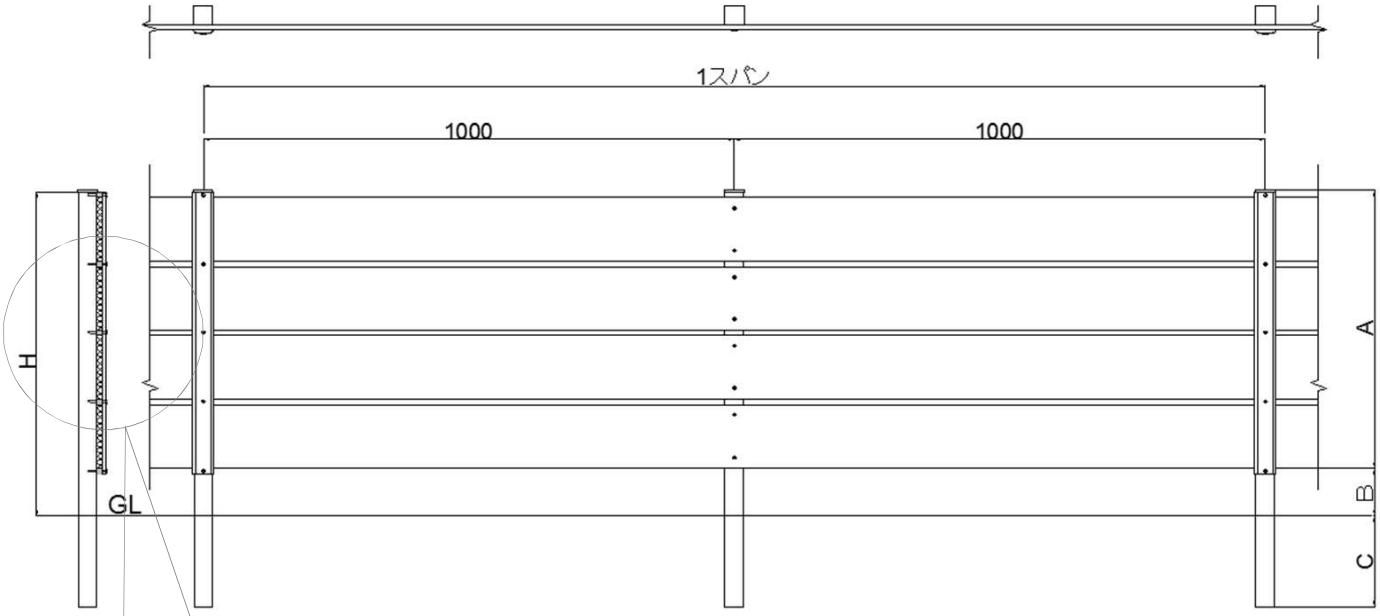
呼　称	120サイズ				呼　称	176サイズ			
	A	B	C	H		A	B	C	H
4枚貼り	560	40	200	**600**	3枚貼り	588	12	200	**600**
5枚貼り	700	100	200	**800**	4枚貼り	784	16	200	**800**
7枚貼り	980	20	200	**1,000**	5枚貼り	980	20	200	**1,000**
8枚貼り	1,120	80	300	**1,200**	6枚貼り	1,176	24	300	**1,200**
10枚貼り	1,400	100	400	**1,500**	7枚貼り	1,372	128	400	**1,500**
11枚貼り	1,540	60	400	**1,600**	8枚貼り	1,568	32	400	**1,600**
12枚貼り	1,680	120	500	**1,800**	9枚貼り	1,764	36	500	**1,800**
14枚貼り	1,960	40	500	**2,000**	10枚貼り	1,960	40	500	**2,000**
15枚貼り	2,100	100	500	**2,200**	11枚貼り	2,156	44	500	**2,200**

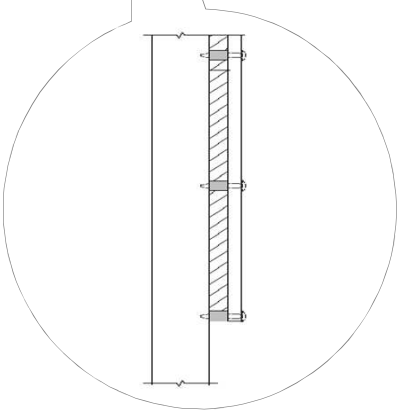
※上記は隙間20mmで施工時の寸法です。

■基本寸法

２. 連結バー材仕様

※標準施工時、<u>端部及びジョイント部</u>に連結バー材を使用してください。





柱サイズ

アルミ形材柱 JISA6063対応品		コート柱 亜鉛非合金化メッキ鋼管	
角寸法(mm)	許容最大 H寸法	角寸法(mm)	許容最大H寸法
35×35 t2.0	1,200	40x40 t2.0	1,600
50×30 t1.6	1,200	52x52 t2.4	2,200
50×50 t1.5	1,600		
60×60 t1.5	1,900		
60×60 t2.0	2,200		

※　施工場所を考慮して十分強度の取れる柱を選択してください。

※　Ａ＝１０＋（隙間×（板の段数－１））＋（板の幅×板の段数）

※　Ｈ＝Ａ　＋　Ｂ（自由に変更ができます）

※　板の長さは１９９５mmです。

呼　　称	１２０サイズ				呼　　称	１７６サイズ			
	A	B	C	**H**		A	B	C	**H**
４枚貼り	550	50	200	**600**	３枚貼り	578	22	200	**600**
５枚貼り	690	110	200	**800**	４枚貼り	774	26	200	**800**
７枚貼り	970	30	200	**1,000**	５枚貼り	970	30	200	**1,000**
８枚貼り	1,110	90	300	**1,200**	６枚貼り	1,166	34	300	**1,200**
１０枚貼り	1,390	110	400	**1,500**	７枚貼り	1,362	138	400	**1,500**
１１枚貼り	1,530	70	400	**1,600**	８枚貼り	1,558	42	400	**1,600**
１２枚貼り	1,670	130	500	**1,800**	９枚貼り	1,754	46	500	**1,800**
１４枚貼り	1,950	50	500	**2,000**	１０枚貼り	1,950	50	500	**2,000**
１５枚貼り	2,090	110	500	**2,200**	１１枚貼り	2,146	54	500	**2,200**

※上記は隙間（当て板）２０mmで施工時の寸法です。

※最上部・最下部の当て板寸法は１０mmです。

■基礎工事について

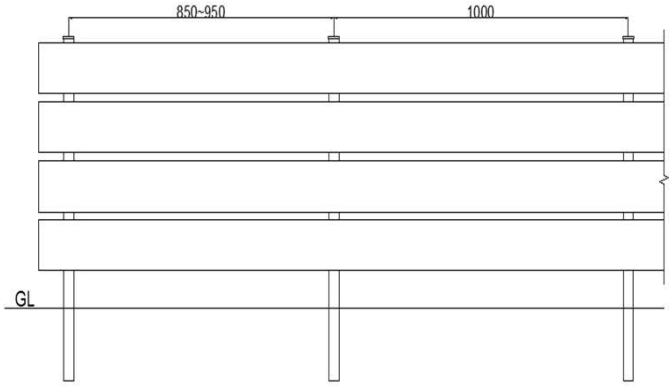
⚠ 注意

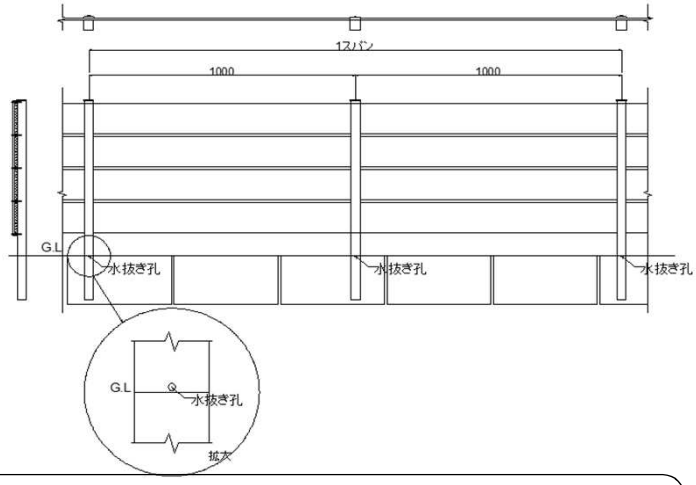
●コンクリート(またはモルタル)には、塩分を含む砂(海砂)および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤(凍結防止剤・凝固促進剤・急結剤)などは使用しないでください。
アルミなどの金属が腐食する原因になります。非塩素系または非アルカリ系の混和剤をご使用ください。

●指定基礎寸法は必ず守って施工してください。

■施工手順　(固定部品仕様・連結バー材仕様共通)

1 柱の施工

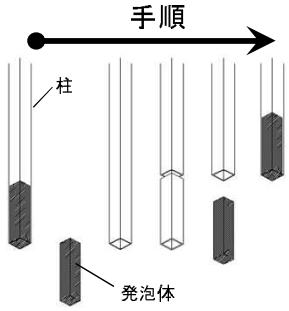




⚠ 注意

●必ず柱に水抜き穴をあけ、柱穴に柱を立てモルタルを打設してください。
※モルタルを打設後に柱を立てると柱内部に水がたまり、凍結破損の原因になります。

●L1500以下のブロック施工可能な柱には、柱脚に発泡体が挿入されています。
柱の切詰加工をする際には、発泡体を抜取ってから切断加工し、再度挿入してください。
※発泡体のない状態で柱を施工すると凍結破損の要因になります。



⚠ 注意

●板材取付面が直線になるように柱を設置してください。板の曲りの原因になります。

●柱が完全に固まってから本体を取付けてください。

●柱を図の様に施工してください。※柱のピッチは1000mm以下で施工してください。

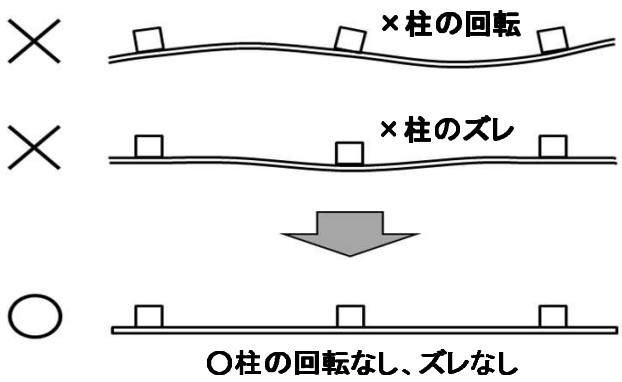
●両端部の柱は図の様に施工して板材をハネ出すと美しく仕上ります。ハネ出しは150mm以下にしてください。

●柱は必ず垂直に施工してください。

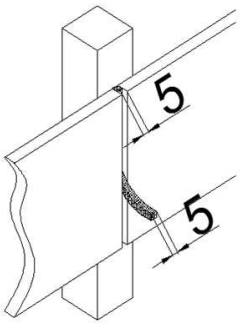
●柱の埋め込みは基本寸法図Cを参考にしてください。
強い風圧を受け飛散・倒壊事故の原因になります。

●50×30角柱に施工する場合は、50の面に板材を取付けてください。

●本体に同梱されている取付説明書をご確認ください。



2 板ジョイント部の施工 （固定部品仕様・連結バー材仕様共通）



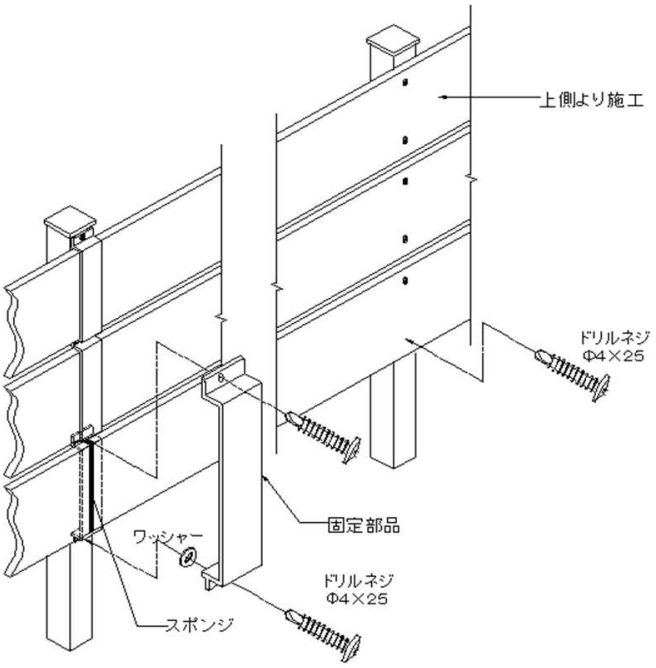
注意

●板ジョイント部は、柱の中心に隙間を開けてください。
※隙間なしで施工すると、板材の温度伸縮に対応できず
反りの発生につながる場合があります。

●板ジョイント部は、5mmの隙間を開けて施工してください。
同梱のスポンジを挟んで、隙間の目安としてください。

3 パネル本体の施工

【固定部品仕様】　　**※Eウッドスタイル ネオに固定部品の設定はありません。**



注意

●ジョイント部・端部には、必ず
固定部品を使用してください。

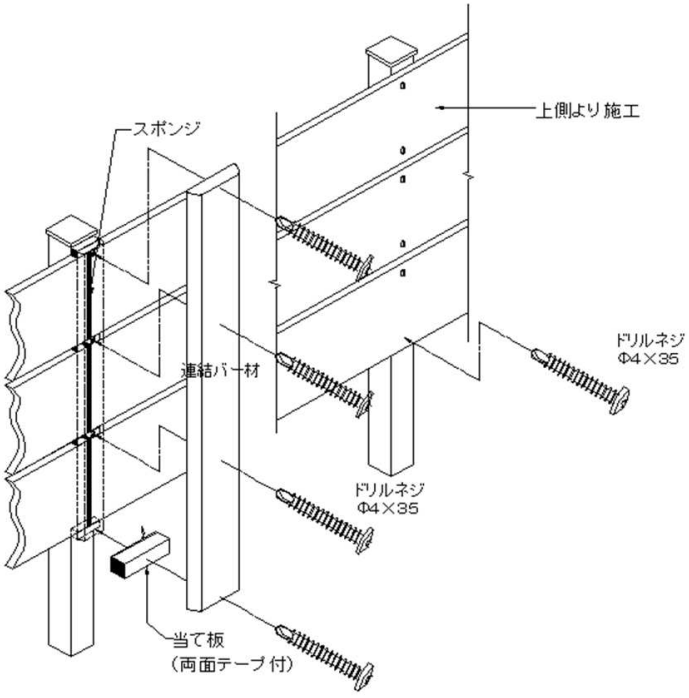
●固定部品は重ねない時は
ワッシャーを使用 してください。

●下穴を開けて、施工してください。

●ビスは締め過ぎないでください。
板の伸縮を吸収できなくなります。

●パネルを現場でカットする時は、
鋸等で素早くカットしてください。

【連結バー材仕様】



注意

●ジョイント部・端部には、必ず
連結バー材を使用してください。

●下穴を開けて、施工してください。

●ビスは締め過ぎないでください。
板の伸縮を吸収できなくなります。

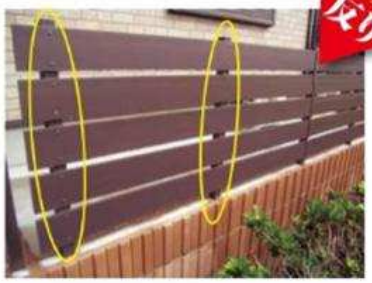
●パネルを現場でカットする時は、
鋸等で素早くカットしてください。

EXIS 株式会社エクシス

Eウッドスタイ 施工上の注意

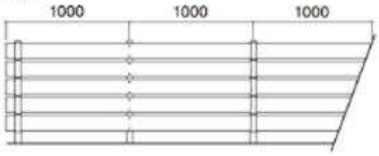
EXIS 株式会社エクシス

状態 反り



原因 端部部分が連続して直止めされている為、反りが発生している。
対策 下図①の様に直止めを連続させず、交互に施工する。

図①



状態 反り

原因 ジョイント部分に直止めされている為、伸縮の吸収が出来ず反りが発生している。
対策 ジョイント部分には直止めしない。

状態 反り

原因 板と板の隙間が無い為、伸縮の吸収が出来ず反りが発生している。
対策 ジョイント部分は柱と連結バー材の中心に施工し、5mmのクリアランスを確保する。

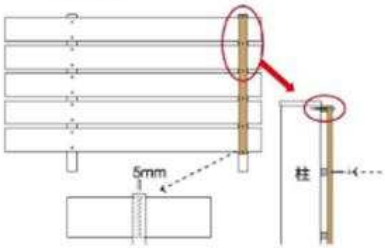
状態 反り

原因 固定部品の側面に板材が引っかかっている為、反りが発生している。
対策 ジョイント部分は柱と連結バー材の中心に施工し、5mmのクリアランスを確保する。

状態 反り

状態 反り

原因 最上部に当て板を使用せず板材に直止めしている為、伸縮の吸収が出来ず最上段のみ反りが発生している。
対策 板材には直止めしない。最上部にも当て板を使用する。



状態 外れ

固定部品からの

原因 ジョイント部分が柱と固定部品の中心(柱ピッチ)が大きくズレている為、板材が外れた。
対策 ジョイント部分は柱と固定部品の中心に施工する。
柱ピッチ1000mm

状態 反り

原因 固定部品・連結バー材を使用せず、全て直止め施工している為、反りが発生している。
対策 固定部品・連結バー材で直止めを連続させず施工する。

状態 外れ

連結バー材からの

原因 柱の傾きとピッチのズレでジョイント部分が柱と固定部品の中心からズレている為、板材が外れた。
対策 ジョイント部分は柱と固定部品の中心に施工する。

状態 外れ

固定部品からの

原因 ジョイント部分が柱と連結バー材の中心からズレている為、板材が外れた。
対策 ジョイント部分は柱と連結バー材の中心に施工する。